

（様式 1）

※ 押印の際はできるだけ朱肉による印を用いること

2018年10月1日

申請日を記載（すべての書類に記載）

愛知医科大学長 殿

入学年月 2015年4月
学籍番号 513001
専攻 基礎（又は臨床）医学系〇〇学
氏名 〇〇 〇〇 印
1975年1月1日生

学位論文審査願

別添のとおり下記の学位論文を提出しますので、審査方お願いします。

記

論文題目	Effects of SM-20550, ……., on the ion transport of myocardial Mitochondria (和訳) ※和訳をカッコ書きで併記すること。
------	--

研究指導教授 氏名 〇〇 〇〇 印

↑
余白 3cm
↓

(様式 2)

余白
3cm

論文目録

←→

氏名 ○ ○ ○ ○ 2018年10月1日

主論文

- ※ 著者名・論題・雑誌名・発行年；巻：頁．の順に記載する。
(区切記号の使い方に注意する。発行誌の巻がない場合は、発行年と頁の間はコロンで区切る。)
- ※ 掲載誌が欧文雑誌の場合は、()書きで正確な日本語訳を付記すること。
- ※ 掲載誌が MEDLINE , JOURNAL CITATION REPORTS, CURRENT CONTENTS, WEB OF SCIENCE 又は SCOPUS 収録誌の場合、それを確認できる資料を提出すること。(総合学術情報センター(図書館部門)で検索できます。)
- ※ 記載方法は別紙の記載例を参照のこと。

参考論文

- ※ 主論文と同じ記載方法とする(別紙記載例参照)。
- ※ 申請者の名前にアンダーラインをひくこと。
- ※ 発行年の新しいものから順に記載する。
- ※ 書ききれない場合は所定の用紙を追加する。

A4版用紙に文字サイズ12ポイントで記載する。

上下左右に3cm程度の余白をとり、1頁29字35行(約千字)で記載する。

←→

余白
3cm

余白 3cm

↑
↓

別紙記載例

1. 著者名は全員をフルネームで記載する。参考論文の場合は、申請者名にアンダーラインをひく。
2. 欧文雑誌名は MEDLINE (Index Medicus) に準じて略してもよい。
3. 和文雑誌名は略さない。
4. 雑誌論文の記載は、著者名. 論題. 雑誌名. 出版年 ; 巻 : 初頁 - 終頁. とする。原則として号は記載しないが、雑誌が号ごとに頁づけをしている場合には、巻 (号) : のごとく、巻のあとに号を記載する。

記載例 (主論文の筆頭著者にはアンダーラインは不要)

- Naohisa Ishikawa, Sakiko Hayashi, ……., Seiko Mochizuki
Effects of SM-20550, ……., on the ion transport of myocardial mitochondria (和訳)
Mol Cell Biochem 2003; 219: 83-90
 - 石川直久, 林 咲子, ……., 望月聖子
選択的 Na⁺-K⁺交換阻害剤 SM-20551 の……イオン輸送に及ぼす影響
愛知医科大学医学会雑誌, 2003; 21: 83-90
(巻の補冊の場合)
 - Takeshi Yamamoto, ……., Atsuko Nakamura
BN-52021 protects guinea-pig from heart anaphylaxis (和訳)
Pharmacol Res Commun 1988; 20 Suppl 5: 75-78
(号の補冊の場合)
 - 高橋 昇, 加藤良太, ……., 新藤幸太郎
自己免疫疾患モデルの開発と自己免疫疾患に伴う免疫異常について
日本臨床免疫学会雑誌 2002; 12(4 Suppl): 31S-37S
5. 単行書 (編著の一論文を含む) の記載は、著者名 (論題) (編著者) 書名 (版次) 出版地 : 出版社, 出版年 : 初頁 - 終頁とする。

記載例

- Shozo Okada
Sports injuries and their treatment 2nd ed
London:S. Paul, 1997

・大島良雄

結合組織病

東京：医学書院，1996

・福代良一

サルコイドーシス

山村雄一，久木田淳，佐野栄春編

現代皮膚科学大系 18. 東京：中山書店，1984; 277-304

6. 受理され印刷中の論文は、印刷中あるいは In press、と記載する.

記載例

・ Yasuko Akita, Hidetoshi Nakamura, ·····, Brian Wilson. Pulmonary blood flow regulation in an aquatic snake

(自己免疫疾患モデルの開発と自己免疫疾患に伴う免疫異常について)

日本臨床免疫学会雑誌 2002; 12(4 Suppl): In press.

別紙記載例

1. 著者名は全員をフルネームで記載する。参考論文の場合は、申請者名にアンダーラインをひく。
2. 欧文雑誌名は MEDLINE (Index Medicus) に準じて略してもよい。
3. 和文雑誌名は略さない。
4. 雑誌論文の記載は、著者名・論題・雑誌名・出版年；巻：初頁－終頁・とする。原則として号は記載しないが、雑誌が号ごとに頁づけをしている場合には、巻（号）：のごとく、巻のあとに号を記載する。

記載例（主論文の筆頭著者にはアンダーラインは不要）

- Naohisa Ishikawa, Sakiko Hayashi, ……., Seiko Mochizuki
Effects of SM-20550, ……., on the ion transport of myocardial mitochondria (和訳)
Mol Cell Biochem 2003; 219: 83-90
 - 石川直久, 林 咲子, ……., 望月聖子
選択的 Na⁺-K⁺交換阻害剤 SM-20551 の……イオン輸送に及ぼす影響
愛知医科大学医学会雑誌, 2003; 21: 83-90
(巻の補冊の場合)
 - Takeshi Yamamoto, ……., Atsuko Nakamura
BN-52021 protects guinea-pig from heart anaphylaxis (和訳)
Pharmacol Res Commun 1988; 20 Suppl 5: 75-78
(号の補冊の場合)
 - 高橋 昇, 加藤良太, ……., 新藤幸太郎
自己免疫疾患モデルの開発と自己免疫疾患に伴う免疫異常について
日本臨床免疫学会雑誌 2002; 12(4 Suppl): 31S-37S
5. 単行書（編著の一論文を含む）の記載は、著者名（論題）（編著者）書名（版次）出版地：出版社，出版年：初頁－終頁とする。

記載例

- Shozo Okada
Sports injuries and their treatment 2nd ed
London:S. Paul, 1997

・大島良雄

結合組織病

東京：医学書院，1996

・福代良一

サルコイドーシス

山村雄一，久木田淳，佐野栄春編

現代皮膚科学大系 18. 東京：中山書店，1984；277-304

6. 受理され印刷中の論文は、印刷中あるいは In press、と記載する.

記載例

・ Yasuko Akita, Hidetoshi Nakamura, ·····, Brian Wilson. Pulmonary blood flow regulation in an aquatic snake

(自己免疫疾患モデルの開発と自己免疫疾患に伴う免疫異常について)

日本臨床免疫学会雑誌 2002; 12(4 Suppl): In press.

(様式 3-1)

主 論 文 の 要 旨

2018年10月1日

論 文 題 目
Effects of SM-20550, ……., on the ion transport of myocardial Mitochondria (和訳) ※ 和訳をカッコ書きで併記すること。

学 籍 番 号	513001
専 攻	基礎 (又は臨床) 医学系〇〇学
ふ り が な	〇〇 〇〇
氏 名	〇〇 〇〇

(様式 3-2)

No. 記載

No. _____

氏 名	〇〇 〇〇
-----	-------

- ※ 主論文の要旨を1,000字程度で記入すること。
- ※ 段落の最初は1文字開けること。
- ※ 下記は作成例であり、記載の仕方は任意である。ただし、審査資料になるので、きちんと段落等を付け、読み易さにも配慮すること。
- ※ 本文の中に「図1」、「図2」などと記載しないこと。

【背景】

〇〇〇〇

〇〇

.

【方法】

〇〇〇〇

〇〇

. 。

【結果】

〇〇〇〇

〇〇

.

【考察】

〇〇〇〇

〇〇

.

【結論】

〇〇〇〇

〇〇

.

(様式 3-2)

No. 記載

No. _____

氏 名

〇〇 〇〇

図（表，写真等） 1

図（表，写真等） 2

※ 図表点数に制限はない。ただし，本紙1枚のみを使用
（本文1枚，図表1枚とする。）

※ 縮小，拡大などは自由だが，審査資料となるので，見易さにも配慮すること。

(様式 4)

同 意 書

学位申請者

氏 名 ○○ ○○

論 文 題 目 **Effects of SM-20550, ……., on the ion transport of
myocardial mitochondria**
(和訳)

発 表 誌 名 **Molecular Cell Biochemistry**
(発行年 ; 巻 : 頁.) (2003 ; 219 : 83-90)

上記論文は、上記申請者を含めて私たちの共著論文であるが、申請者が自らその研究に従事し、論文作成の主なる役割を果たしたことを証明いたします。

また、上記論文が未だ上記申請者以外の学位主論文として使用されたことのないことも証明いたします。

なお、上記申請者が上記論文を学位申請主論文とすることに同意いたします。

2018年10月1日

共 著 者

- ※ 論文の共著者順に自筆署名及び押印とする。
- ※ 共著者2名までの場合2名まで用を，5名までの場合5名まで用を使用する。
- ※ 本様式は共著者10名までの場合使用するもの。共著者2名までの場合2名まで用を，5名までの場合5名まで用を使用する。欄が不足する場合は加えて使用する。

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

氏 名 _____ ㊞

(様式 5)

誓 約 書

2018年10月1日

愛知医科大学長 殿

学位申請者

氏 名 ○○ ○○

印

論 文 題 目 Effects of SM-20550, ……., on the ion transport of
myocardial mitochondria

(和訳)

発 表 誌 名 Molecular Cell Biochemistry

(発行年 ; 巻 : 頁.)

(2003 ; 219 : 83-90)

上記論文は、貴学以外の大学へ学位論文として提出したことがないものである
ことを誓約いたします。

(様式 6)

履 歴 書

2018年10月1日現在

ふりがな	〇〇 〇〇	性 別	生 年 月 日
氏 名	〇〇 〇〇 ㊟	男・女	1975年1月1日生
本 籍	愛知県		
現 住 所	郵便番号 480-1195 電話番号 (0561) 62-3311 〇〇県〇〇市〇〇町1番地の1		
経 歴	年 月 日 ~ 年 月 日	事 項	
	2006.3.10 (卒業証書の日付を記入)	〇〇大学医学部医学科卒業	
	2006.3.29 (合格日を記入)	第〇回医師国家試験合格	
	2006.4.12 (医師免許証記載の登録日を記入)	医籍登録第 000000 号	
	2006.4.1~2008.3.31	〇〇病院臨床研修医	
	2008.4.1~2010.10.31	〇〇大学病院専修医 (〇〇科)	
	2009.4.8~	愛知医科大学大学院医学研究科博士課程 (大学院入学日は入学式の日を記入)	
	2010.11.1~2012.3.31	臨床 (基礎) 医学系〇〇科学専攻入学	
	2012.4.1~	〇〇病院医師 (〇〇科)	
	2012.4.1~	〇〇大学病院医員助教 (〇〇科)	
	. . ~ . .	現在に至る	
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
	. . ~ . .		
賞 罰	. .	なし	
	. .		
	. .		

※ 大学卒業から現在までの経歴（医師国家試験合格，臨床研修期間を含む）を年次に従いもなく明記し，職歴については職名を併せて記入すること。

(様式 7)

2018年10月1日

愛知医科大学長 殿

研究指導教授

氏名 _____ ○○ ○○ ㊟

大学院学生の研究指導について（報告）

下記学生に対して、本学大学院学則に定める「必要な研究指導」を行いましたので、
報告します。

記

学籍番号	専攻	氏名
513001	基礎（又は臨床）医学系○○学	○○ ○○